

# とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

## まんとみ幼稚園 実践紹介！

### とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の  
伸びる・育つ

×

わくわく

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

## 「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？



好奇心を持つ  
きっかけを増やす

どうして？

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを  
やってみようかな



考えを深める

## すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

### 非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

### 豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都とCEDEPは、「とうきょうすくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょうすくわくプログラムは  
こちらからご覧いただけます。

とうきょうすくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょうすくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



学校法人まんとみ学園  
まんとみ幼稚園

電話  
03-3681-4252

所在地  
江東区亀戸 1-14-12



# まんとみ幼稚園で

4歳児  
クラス



# とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

## テーマ はかる

まんとみ幼稚園における様々な遊びや生活の中で、子供たちは高さや長さ、重さに興味関心を持ち、「はかる」活動を行っていたのでテーマとしました。

### 活動① 水の量をはかろう

長さや重さに比べてはかることが難しい水の量について、「子供たちがどうやってはかるのか」をねらいとしました。普段、園庭で遊んだ後にままごとの道具などを洗っているベビーバスを使って活動しました。



どっちの方がお水がいっぱい入っている？

水の量を「はかる」ための子供たちのアイデア

力持ちの子が持ち上げてみればいい！

力持ちの子は軽いうって言っちゃうからあまり力のない子が持つのがいい



そうしたら地面がお水を飲んじゃう！



2つ穴を掘って水だけ流して比べてみよう



普段からたくさん遊び込んでいるからこそ、「こうしたらこうなるだろう」と想像し、考えることができていました。

### 活動② モビールで重さをはかろう

「はかる」の中で「重さ」に焦点をしぼり、モビールを作る活動を行いました。

どこに吊るとまっすぐになるかな



木の枝が上がっている方が「勝ち」下がっている方が「負け」



「重さ」に着目するよりも、飾りつけをする感覚で活動を行っていました。

### 活動③ 塗る・結ぶ・飾る

子供たちの関心が「バランス」よりも「飾りつけ」に向いていたため、吊るし飾りを作る活動を行いました。



前回の活動で「結ぶ」動作に苦戦した子がいたため、リボンを結ぶ作業も加えました。友達に手伝ってもらったり、友達を真似して挑戦するなどして結べるようになりました。

思い思いの色を塗り、色を重ねることも楽しみました。

「グラグラゲームだ！」という子供の発言から、みんなが水平を意識するようになり、水平になった瞬間は全員で大喜びしていました。